

医学概論Ⅳ

【Medical Humanities Ⅳ】

担当責任者 教授（医学概論） 藤野 昭宏

ねらい

「医学とは、できる限り確かな医学知識(Science)と技術(Art)を用いて、病いにある人の自己回復力を全人的に援助する人間学(Humanity)である。」医学生立場でこの意味を十分に理解・体得するために、次の方針に基づいた教育を行う。

1. 講義および体験学習を通じて、「医学とは何か」「人間とは何か」について理解を深めることにより、人間に対する豊かな感性と靈性を養う。
2. 医学概論教育を通じて本来の自分の生き方を再発見・探求することにより、専門職である医師となるための基本的な倫理観・態度を養う。
3. 産業医学マインドの原点である、①上医をめざす、②感謝されない医師、③哲学する医師の3つの基本的医師像に加え、④実感として共感する医師となれるよう、その基本的態度の体得に努める。

学修目標

1. 漢方医学の基本的概念(気・血・水、陰陽、虚实、表裏、寒熱)に基づいた診断方法(望診・聞診・問診・切診)を説明できる。(Ⅳ-1)
2. 漢方医学の「証」および「随証治療」について説明できる。(Ⅳ-8)
3. 漢方方剤の構成、薬理作用、適応症、副作用について説明できる。(Ⅴ-5)
4. 臨死患者と対話できるアプローチ方法やホスピス病棟の意義について説明することができる。(Ⅵ-1)
5. 患者の心理的プロセスや患者の意思決定能力について説明することができる。(Ⅳ-8)
6. 実践的な臨床現場における倫理問題を臨床倫理的アプローチに基づいて論じることができる。(Ⅰ-1, Ⅰ-3)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、指定教科書や参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義プリントを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 科目試験Ⅰ・Ⅱ(約85%)、講義レポート(約15%)の結果を基に総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○教科書

1. 藤野昭宏監訳「病院倫理入門 - 医療専門職のための臨床倫理テキスト」2011年 丸善出版
2. 寺澤捷年著「症例から学ぶ和漢診療学 第3版」2012年 医学書院
3. 日本漢方医学教育協議会 編集 基本がわかる漢方医学講義 2020年 羊土社

○参考書

日本東洋医学会学術教育委員会編集「学生のための漢方医学テキスト」2007年 日本東洋医学会
三瀧忠道著「はじめての漢方診療ノート」2007年 医学書院
藤平健、小倉重成著「漢方概論」2002年 創元社
花輪壽彦著「漢方診療のレッスン」2000年 金原出版
三谷和男編著「傷寒論の読み方-古典を臨床に生かす-」2003年 緑書房
白幡聡、藤野昭宏編「小児医療のインフォームドコンセント」2010年 医薬ジャーナル社
赤林朗、蔵田伸雄、児玉聡訳「臨床倫理学」2006年 新興医学出版
Albert R. Jonsen, Mark Siegler, William J. Winslade著「Clinical Ethics」2006年 McGraw-Hill Companies
福井次矢、浅井篤、大西基喜編「臨床倫理学入門」2003年 医学書院
チャールズ・ハインド編「いかに深刻な診断を伝えるか」2000年 人間と歴史社
E.キューブラー・ロス著 鈴木晶訳「死ぬ瞬間 完全新訳改訂版」2004年 読売新聞社
日野原重明著「死をどう生きたか-心に残る人びと-」1983年 中公新書
河合隼雄著「生と死の接点」1989年 岩波書店

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R6.11.20	水	1	ストレス性疾患になぜ漢方医学が有効なのか？ (漢方医学各論①)	CS	2	4	14	藤野 昭宏
11.20	水	2	陰陽・虚实による病態認識の証と方剤 (漢方医学各論②) *講義レポート①	CS	2	4	14	藤野 昭宏
11.20	水	3	気の病態認識(気虚・気鬱・気逆)の証と方剤 (漢方医学各論③)	CS	2	4	14	藤野 昭宏
11.20	水	4	血・水の病態認識(血虚・瘀血・水毒)の証と方剤 (漢方医学各論④) *講義レポート②	CS	2	4	14	藤野 昭宏
11.25	月	1	寒熱・表裏による病態認識の証と方剤 (漢方医学各論⑤)	CS	2	4	14	藤野 昭宏
11.25	月	2	五臓(肝・心・脾・肺・腎)の病態認識の証と方剤 (漢方医学各論⑥) *講義レポート③	CS	2	4	14	藤野 昭宏
11.25	月	3	漢方診療の実際 - 脈診・舌診・腹診を学ぶ (漢方実習①)	CS	2	4	14	藤野 昭宏
11.25	月	4	漢方診療の実際 - 漢方カルテによる証と方剤決定 (漢方実習②) *講義レポート④	CS	2	4	14	藤野 昭宏
11.26	火	1	太陽病期の病態認識の証と方剤 (漢方医学各論⑦)	CS	2	4	14	藤野 昭宏
11.26	火	2	少陽病期・陽明病期の病態認識の証と方剤 (漢方医学各論⑧) *講義レポート⑤	CS	2	4	14	藤野 昭宏
11.26	火	3	太陰病期・少陰病期・厥陰病期の病態認識の証と方剤 (漢方医学各論⑨)	CS	2	4	14	藤野 昭宏
11.26	火	4	証の決定演習(アトピー皮膚炎・慢性頭痛・頸腕症候群) (漢方医学各論⑩) *講義レポート⑥	CS	2	4	14	藤野 昭宏
12.2	月	1	初期診療でよく使う漢方処方と漢方生薬・方剤の 副作用について(漢方薬の副作用) *講義レポート⑦	CS	2	4	14	藤野 昭宏
12.2	月	2	科目試験 I (70分間)					藤野、石丸
12.2	月	3	Advance Care Planning (ACP)とは何か？ (死の臨床倫理①)	GE	3	6	5	石丸 知宏
12.2	月	4	人生の最終段階の対象となる医療行為とは？ (死の臨床倫理②) *講義レポート⑧	GE	3	6	3	石丸 知宏
12.9	月	1	キューブラー・ロスに学ぶ臨死患者さんの心理プロセス (死の臨床倫理③)	GE	3	6	2	藤野 昭宏
12.9	月	2	失敗に学ぶ臨死患者さんとのコミュニケーション技法 (死の臨床倫理④) *講義レポート⑨	GE	3	6	6	藤野 昭宏
12.9	月	3	4分割表を用いた臨床倫理の考え方とCase Study (臨床実践倫理①)	PR	4	1	3	石丸 知宏
12.9	月	4	第3度の重症熱傷の事例(ダックスの症例)から学ぶ (臨床実践倫理②) *講義レポート⑩	PR	4	1	3	石丸 知宏

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
12.11	水	1	病院倫理委員会とは何か? - なぜ必要なのか? (臨床倫理の実践①)	PR	4	1	2	藤野 昭宏
12.11	水	2	臨床倫理コンサルテーションの実際について (臨床倫理の実践②) *講義レポート⑩	PR	4	1	2	藤野 昭宏
12.11	水	3	臨床倫理Case Study(1-4) 実践演習① (グループ別発表会)	PR	4	1	3	藤野、石丸
12.11	水	4	臨床倫理Case Study(5-8) 実践演習② (グループ別発表会) *講義レポート⑪	PR	4	1	3	藤野、石丸
12.16	月	1	臨床倫理Case Study(9-12) 実践演習③ (グループ別発表会)	PR	4	1	3	藤野、石丸
12.16	月	2	臨床倫理Case Study(13-16) 実践演習④ (グループ別発表会)	PR	4	1	3	藤野、石丸
12.16	月	3	臨床倫理Case Study(17-20) 実践演習⑤ (グループ別発表会)	PR	4	1	3	藤野、石丸
12.16	月	4	臨床倫理Case Study(21-22) 実践演習⑥ (グループ別発表会) *講義レポート⑫	PR	4	1	3	藤野、石丸
12.23	月	1	科目試験Ⅱ(60分間)					藤野、石丸
12.23	月	2	大学病院における乳児の尊厳死の実際の症例から *講義レポート⑬	GE	3	6	4	藤野 昭宏